科目ナンバリング	U-LAS07 10005 LJ31						
授業科目名 <英訳>	日本社会論 Introduction to Japanese Society			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 木村　純		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	日本理解		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	木4	配当学年	1回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

この講義では、日本社会の成り立ちから各時代を通じて、社会がどのように変化してきたのかについて、要点を抑えながら把握する。また、社会の変化をいくつかの転換点で捉え、特に近・現代社会を切り開く“近代化”が果たした役割やその移行の過程で起こった出来事について学ぶ。そのうえで、現代社会の新たな局面であらわれた「リスク」や加速する「個人化」という観点から、現代日本社会が直面する諸問題について考察する。

[到達目標]

1. 日本社会の構造や制度について、社会変動の転換点を踏まえながら、過去から現在にわたって理解する。
2. 上記で学ぶ事柄が、現代日本社会の意識構造の基盤として、現代的諸問題をどのように形成し、影響を与えているかについて理解する。

[授業計画と内容]

第 1回　講義のすすめかた
第 2回　日本社会の原風景：地理的条件と日本的特徴
第 3回　過去の日本社会①：古代専制国家
第 4回　過去の日本社会②：中世封建制
第 5回　過去の日本社会③：近世封建制
第 6回　学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション
第 7回　近代化による社会変容①：明治期
第 8回　近代化による社会変容②：大正期から第二次世界大戦後まで
第 9回　近代化による社会変容③：高度経済成長から現代まで
第10回　日本的集団主義：これまで語られてきたこと
第11回　学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション
第12回　現代日本社会における問題①：日本的働き方
第13回　現代日本社会における問題②：教育の現場はどうなっているのか？
第14回　現代日本社会における問題③：家族の形態はどのように変化したのか？
第15回　講義の内容の振り返り、まとめ

＊基本的に上記の順序で講義をすすめるが、講義の進捗状況により、順番や回数、講義内容を変更する場合がある。

[履修要件]

日本語・日本文化研修生専用科目として開講する。

日本社会論(2)へ続く↓↓↓

日本社会論(2)

[成績評価の方法・観点]

口頭発表・ディスカッションへの参加度（30%）、および期末レポート（70%）。

[教科書]

使用しない
適宜、プリント等を配布する。

[参考書等]

（参考書）
冨永健一 『日本の近代化と社会変動』（講談社学術文庫）ISBN:978-4061589520
小熊英一 『日本社会のしくみ』（講談社現代新書）ISBN:978-4065154298
高谷好一 『『世界単位日本』』（京都大学出版会）ISBN:978-4814000791
吉見俊哉 『ポスト戦後社会』（岩波新書）ISBN:978-4004310501
高野陽太郎 『「集団主義」という錯覚』（新曜社）ISBN:978-4788511156

[授業外学修（予習・復習）等]

講義内でも適宜指示するが、参考書をもとに予習・復習をしてください。

[その他（オフィスアワー等）]

講義終了後に随時受け付けます。